

<報道発表資料>

.....
カテゴリ:お知らせ

令和7年10月22日

埼玉県
サステナブル企業認証
PLATINUM埼玉県
サステナブル企業認証
GOLD**持続可能な経営に取り組んでいる企業を認証する新たな制度
「埼玉県サステナブル企業認証制度」を創設しました**

企業において持続可能な経営（サステナブル経営）の重要性が高まる中、大企業に求められる気候変動や社会課題への取組などサステナビリティ情報の開示等が、将来的に大企業と共にサプライチェーンを構成する中小企業にも影響が及ぶことが見込まれます。

こうした背景を踏まえ、このたび、埼玉県では、県内企業のサステナブル経営やSDGsの達成を促進し、「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するため、10年、20年先を見据え、高いレベルでサステナブル経営に取り組んでいる企業を県が認証する「埼玉県サステナブル企業認証制度」を創設しました。

本日から12月22日まで認証申請の受付を行いますので、県内中小企業の皆様は、是非、申請を御検討ください。

1 制度概要**(1) 対象**

県内に事業所等を有する中小企業

(2) 認証の要件

SDGsの三要素（環境・社会・経済）に関する20の審査項目（200点満点）で一定の水準を満たすこと

(3) 認証有効期間

3年間 ※経過後の年度末まで

(4) 審査項目

東証プライム上場企業に適用される情報開示基準などの要素を反映し、SDGsの経済・社会に相当する「一般項目」と環境に相当する「環境項目」の二分野で構成する審査項目を設定する。

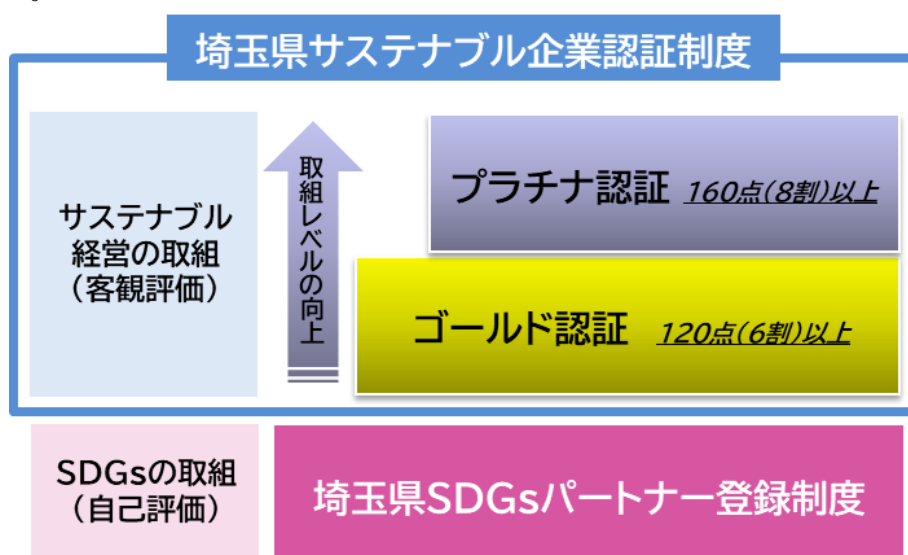
<審査項目一覧>

分野	回答	項目
一般項目	必須回答項目	01 ガバナンス（企業統治）体制 02 企業情報の公開 03 職場における安全衛生管理の推進 04 情報セキュリティ対策 05 平時の事業継続に関する取組 06 非常時の事業継続に関する取組 07 公正な経済取引（不正防止） 08 バリューチェーン全体で社会的責任を果たす取組 09 生産性の向上
	選択回答項目	10 多様な人材の活躍支援 11 従業員の人権配慮（人権デューデリジェンス） 12 人材定着・確保 13 健康経営への取組 14 製品・サービスの品質と安全性
環境項目	必須回答項目	15 環境負荷低減マネジメント 16 リスクと機会の認識 17 気候変動への取組
	選択回答項目	18 自然環境との調和（生物多様性保全） 19 資源循環・廃棄物削減 20 水資源の確保

（５）制度の体系

埼玉県SDGsパートナー登録よりも高いレベルの取組を行っている企業を対象とした制度として位置付ける。

取組レベルに応じて「プラチナ認証」「ゴールド認証」２段階の認証区分を設定する。



2 制度の特色

- ①簡易な内容の審査項目を設定
分かりやすく、理解しやすい具体的な内容の審査項目（設問及び選択肢）を設定
- ②企業のサステナブル経営への取組状況を「見える化」
「取組状況確認ツール」の入力シートにチェックすることで「評価シート」「取組状況開示書」を自動生成（※参考資料参照）
- ③ヒアリング調査を踏まえた評価
書面審査に加え、ヒアリングを通じた取組の実態調査を行った上で専門家が評価

3 認証によるメリット

- ①サステナブル経営の取組を県が証明することで企業の信用力の向上につながり、大企業等との取引においてプラスとなる
- ②社員のモチベーション向上や就職先として学生等へのアピール材料となり、企業の人材定着・確保につながる
- ③県が認証企業を積極的に広報することにより、知名度やイメージが向上する
- ④認証ロゴマークを活用し、対外的にアピールできる

< 認証ロゴマーク >



埼玉県
サステナブル企業認証
PLATINUM



埼玉県
サステナブル企業認証
GOLD

4 スケジュール

令和7年10月22日～12月22日 申請受付期間

令和8年 3月頃

認証決定（結果通知）

4月頃

認証式（認証書交付）

5 その他

詳細情報は、下記サイト参照（「取組状況確認ツール」のダウンロード含む）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/kigyouninnsyou.html>



（QRコード）

参考資料：取組状況確認ツール（Excel ファイル）

企業の該当する選択肢にチェックを入力することで、「評価シート」と「取組状況開示書」が自動生成される。

<入力シート>

企業の該当する選択肢にチェックを入力する。

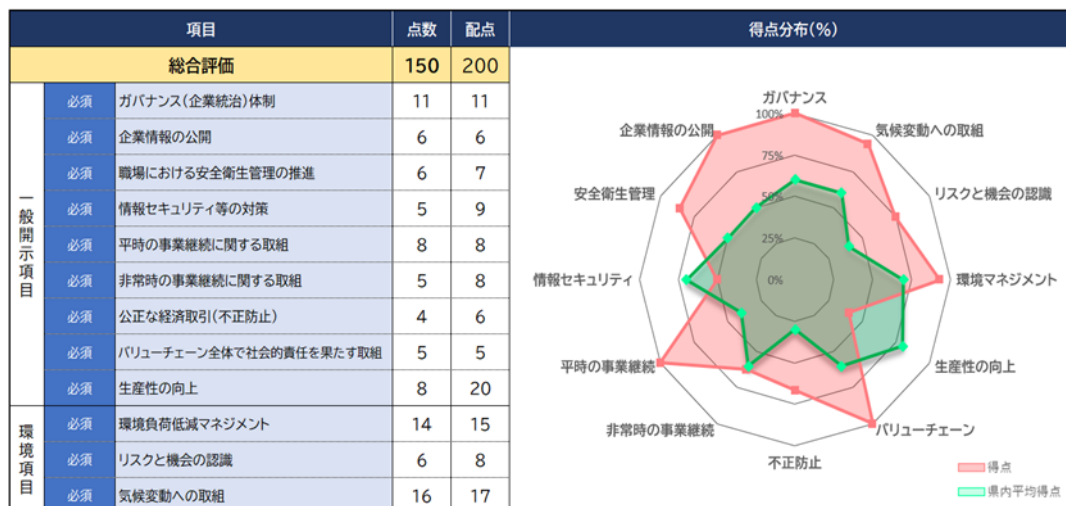
●不法行為や不祥事を未然に防ぐため、次の取組を通じてガバナンス(企業統治)を強化している。

☒ ア 会社の経営体制及び各部署との関係が分かる組織図を作成している

☐ イ 企業の意思決定において多様性を確保するため、女性や外国人を取締役に任命している

<評価シート>

入力シートでチェックした内容が点数化され、自社の取組状況が一目で分かる。



※県内平均得点は今後表示予定

<取組状況開示書>

自社の主な取組を集約し、表示される。

「埼玉県サステナブル企業認証制度」に基づく
取組状況開示書

「埼玉県サステナブル企業認証制度」の審査項目のうち、当社が取り組んでいる項目を開示します。

日付: 令和7年10月21日
社名: 埼玉産直

当社は、〇〇という経営理念に基づき、持続可能な成長を目指して事業を展開している。特に、自然環境保護のため、10年以上にわたり植林活動を継続している。

水資源の確保
健全な水循環を目的とした河川や海洋環境の保全を行っている
健全な水循環の確保を目的とした山林の植林・保全を行っている
少量灌漑、雨水を利用している
水資源の保全や有効活用を行っている
低流量の蛇口、水栓、トイレ、シャワーヘッドを使用している

生産性の向上
定量的な目標を設定し、独自に生産性向上への寄与度などの評価を行っている
年1回以上、第三者による生産性向上への寄与度などの評価を受けている
従業員にデジタル化に向けた計画や手順を示している
中期(3～5年の期間)の経営計画を策定し、社内でも共有、または公表されている